



この日、招かれたのは地球の反対側からヴァンフォーレ甲府にやってきた、ブラジル出身の三選手。マルキーニョス・パラナ選手、ダヴィ選手、ドウドゥ選手だ。中盤から前線を担う、攻撃のコアになる選手たち。ピッチで見せる鬼気迫る表情とは違い、とてもリラックスしている様子。日本の農耕文化を色濃く残す、山梨県笛吹市一帯は果樹の産地である。伝統の果樹栽培を体験し、山梨について理解を深めてもらうためのヴァンフォーレ山梨ス

ポーツクラブの海野一幸会長の計らいだ。「山梨のぶどうはおいしいから好きだよ」。そう言いながらぶどう狩りを楽しむ選手たちを、海野会長は笑みを浮かべ我が子のように見守っていた。栽培品種はマスカット・ベリーA。赤ワイン品種として有名だが、そのまま食べても瑞々しくて濃厚な甘さがある。何度か畑を訪れているダヴィ選手はお手のもの。続いてパラナ選手とドウドゥ選手もすぐにコツをつか



VINE TO FORET KOFU

海野会長のぶどう畑。

